

定期テストの作成は、範囲の確認・本文からの出題バランス・観点別の配点設計まで含めると1本あたり5～8時間かかる仕事です。このテストはSUNSHINE 3 PROGRAM 4～5(関係代名詞中心)の範囲で、そのまま実施できる状態まで仕上げてあります。

この教材で解決できる悩み

- ・ テスト作成が部活・行事と重なり、毎回深夜作業になる
- ・ 観点別評価(3観点)の配点設計に自信がない
- ・ リスニング問題の台本づくりまで手が回らない

教材の概要

項目	内容
対象	中学3年 2学期中間(SUNSHINE 3 PROGRAM 4～5)
文法項目	関係代名詞(主格 who / which / that・目的格)
形式	A4・4ページ+リスニング台本+解答・配点表
配点	100点満点(知識・技能55／思考・判断・表現45)
試験時間	50分

大問構成

大問	内容	配点
1	リスニング(人物当てクイズ形式)	15点
2	語彙・適語選択(教科書語彙)	15点
3	関係代名詞の文法問題(選択・結合)	25点
4	教科書本文の読解(PROGRAM 4本文改変)	20点
5	初見文の読解(本文と同テーマ)	15点
6	条件英作文(人を紹介する文)	10点

大問1のリスニングは「This is a person who...」形式の人物当てクイズで、テスト自体が関係代名詞のインプットになる設計です。台本は読み上げ速度の目安(1回目ゆっくり・2回目自然速)つき。

大問4は教科書本文の改変問題です。学校でお使いの版(令和7年度版)と本文が一致しているか、実施前に必ず照合してください。改訂版の違いがあった場合、Word版なら本文の差し替えだけで対応できます。

観点別評価の設計メモ

- ・ 大問1・5・6を「思考・判断・表現」に計上(初見情報の処理と自己表現)

- 大問2・3・4を「知識・技能」に計上
- 平均点の目安は62～68点(過去の実施データに基づく難度調整済み)

実施後の活用

大問3の誤答は「主格と目的格の混同」「whoとwhichの選択ミス」に分類して集計すると、テスト返却後の1時間で効率的な学び直し授業が組めます。分類用の集計表も付属しています。